

心で走る ～マラソンのスーパーエース瀬古さんに聞く～

第一部 講演会 講演者のご紹介

《瀬古利彦氏 (株)ディー・エヌ・エー フェロー
DeNAランニングアカデミー育成アドバイザー》

略歴：1956年、三重県生まれ。

高校時代から本格的に陸上を始め、インターハイでは800m・1500mで二年連続二冠を達成。

早稲田大学へ進み、故中村清監督の元、ランナーとしての才能を開花。箱根駅伝では4年連続で「花の2区」を走り、3、4年次では区間新（当時）を獲得するなど、スーパーエースとして活躍した。

トラック・駅伝のみならず大学時代からマラソンで活躍し、国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。

現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。

「徹子の部屋」をはじめ、テレビ、ラジオにも多数出演。



第二部 総長懇談会



田中愛治総長 2年連続ご登壇

今年も田中総長が出席され2032年に創立150周年を迎える早稲田大学が新たな飛躍に向けてどのように進んでいくのか、また「社会が求める早稲田大学の姿は何か」について熱く語られます。

第17代早稲田大学総長 田中愛治氏は1951年11月17日生。日本の政治学者。専攻は計量政治学、政治過程論。世界政治学会（IPSA）会長を歴任。一般社団法人日本私立大学連盟会長。日本私立大学団体連合会会長。全私学連合代表。北京大学名誉博士。

第三部 懇親会

今年の懇親会は例年同様、早稲田の校友のみなさんがここに集い、より旧交を温めていただき楽しい時間を過ごしていただけるようお食事もお飲み物も豊富に用意いたしました。宴会の最後は応援部のリーダー・チアリーダー・吹奏楽団による恒例の校歌斉唱です。指揮に合わせてみんなで肩を組み早稲田大学校歌を高らかに歌い県稲門祭の終わりを惜しみましょう。